

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野フーズ	事業所名	ムサシノ食品部 所沢工場		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
04	積載率の向上	得意先様指定番重を導入して規格標準化を継続する。	○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上				
04	積載率の向上	一部輸送に於いては物量如何で2t車両を投入して運行する。	○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注				
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	地方デポ向け横持便の混載運用と併せ、首都圏輸送も一部混載化を進め台数抑制に努める。又、得意先様の共同輸送を利用する。	○	○	○
(01)	混載便利用の取組				
06	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進	アイドルストップの推奨と無駄なアクセルワーク防止の注意喚起を行う。	○	○	○
(03)	貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認				
07	計画的な貨物輸送の推進	得意先様と出荷・納品時間を設定し、運行行程の簡素化に努める。	○	○	○
(01)	発注時間及び配送時間のルール化				
07	計画的な貨物輸送の推進	カテゴリの異なる商品の混載輸送を実施し積載率の改善に努める。	○	○	○
(02)	多頻度少量輸送の見直し				

自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	状況に応じて早出しもしくは分車対応を実施し、運行時間短縮に努める。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	出荷スケジュールを定めており、接車後速やかに積込み作業を実施(基本待機なし)	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	関連の物流会社をセンター前デポとして利用	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	仕分委託先を集約し、輸送距離短縮を図る。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	委託物流会社と情報共有化して、無駄な輸送出動の無い様に努める。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	工場待機場所が狭く、コース単位で出荷時間を定め、周辺での路駐防止を図る。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	特需製品出荷の際は事前協議を行い、最小限の台数確保と最短行程を構築しCO2削減に努める。	○	○	○